

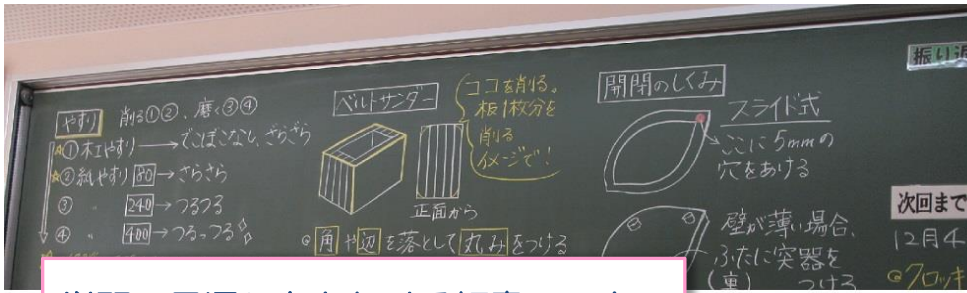
令和元年度 授業エキスパートを目指す授業研究会 令和元年12月3日(火)

加須市立昭和中学校

美術

題材名 「木のぬくもりを感じて」

第2学年



学習の見通しをもたせる板書の工夫



学習の見通しをもたせる作品のモデル

授業の様子



ICTを活用した導入



自作のつい立を活用したベルトサンダーコーナー



安全面の配慮



導入時の話し合い活動 (アクティブタイム)

参会者アンケートから

研究会のあり方・全体的な感想

【授業について】

- 授業の流れが明確で、子供たちの活動が充実していました。生徒一人一人が自分の制作方法及び見通しをもって学習していました。ワークシートや「制作のあゆみ」も参考にしたいです。
- 授業規律がしっかりしているからこそ、生徒が目的をもって話し合い活動に参加できたのではないかと思います。
- 先生の何気ない一言が、生徒の授業に対する意欲や自己肯定感の高まりにつながっていくのだと実感しました。
- 時間のかかる片付けや掃除をスムーズに終わらせるために、電気を消して合図をする画期的なアイデアに驚きました。
- 板書・掲示物が大変美しかったです。美術室の環境や廊下の掲示物も含めて素晴らしかったです。

【協議について】

- 自分では思い付かないアイデアがたくさん出され、明日からの授業に生かしたいと思いました。
- 美術における話し合い活動のあり方について大変参考になりました。
- 美術科教員が一人配置のため、このように多くの先生方と意見交換ができることは大変ありがたいです。日々の悩みを解決することができました。



本時の振り返りを
「制作のあゆみ」に記入



学習の系統を掲示



生徒の作品を展示



【指導講評】

- 生徒の学びを肯定的に捉え、適切な声かけができていた授業であった。本時のように振り返りの場を設定することが大切である。
- 指導案作成にあたっては、アンケートを取るなどして、目の前の生徒の実態に応じた指導の充実を図るようにする。
- ぜひ、埼玉県主催の児童生徒美術展に足を運び、現在の美術教育の流れをつかんでほしい。また、制作をとおして、生徒に何を身に付けさせるかを常に意識し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指してほしい。

埼玉県立総合教育センター 矢島 俊 指導主事